

I. 事業評価総括表

(単位 円)

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名 (間接補助事業者名)	補助事業に要した費用	補助金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	茂原漁港改良事業	越前町	31,395,000	28,000,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	防災備蓄倉庫整備事業	越前町	4,567,500	4,500,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	町道大樟道口線道路改良事業	越前町	4,975,950	4,500,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	町道厨道口線道路改良事業	越前町	8,421,000	8,000,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	血ヶ平地区集会施設改修事業	越前町	5,166,000	4,000,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	城崎小学校屋外運動場改修事業	越前町	11,025,000	8,000,000	
7	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	越前学校給食センター給食運搬車購入事業	越前町	4,882,500	4,500,000	
8	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	アクティブランド体育館改修事業	越前町	13,296,150	11,000,000	
9	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	道口地区(大矢坂)避難路整備事業	越前町	4,400,550	3,622,000	
10	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	道口地区(越前中学校)避難路整備事業	越前町	1,548,750	1,400,000	
11	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	大樟地区避難路整備事業	越前町	1,663,200	1,300,000	
12	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	米ノ地区避難路整備事業	越前町	1,337,700	1,200,000	

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		茂原漁港改良事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	越前町 茂原 地係			
補助事業の概要	離岸堤設置(延伸)L=10.0m			
総事業費(円)	31,395,000	補助金充当額(円)	28,000,000	
補助事業の成果および評価	茂原漁港を利用する42隻の漁船が、離岸堤を延伸したことにより、出港・帰港時の荒波の影響を緩和し、漁船の安全な航行を確保することができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	漁港改良	一般競争入札	越前町梅浦86-32 (株)大生 代表取締役 村上哲	31,395,000
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等		防災備蓄倉庫整備事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 小樟・茂原・大樟 地係			
補助事業の概要	防災備蓄倉庫設置工 N=3基			
総事業費(円)	4,567,500	補助金充当額(円)	4,500,000	
補助事業の成果および評価	越前町の越前地区(日本海に面している地区)における拠点避難所8施設において、今回初めて高台の3施設の防災倉庫を設置することができた。今後は、震災・津波時の水・食糧・物資が確保されるようになり、拠点避難施設としての防災機能がより高まった。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	防災	一般競争入札	越前町梅浦86-32 (株)大生 代表取締役 村上哲	4,567,500
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等		町道大樟道口線道路改良事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 大樟 地係			
補助事業の概要	側溝工(門型300×300) L=188m 集水柵工(600×600×500) N=1基 舗装復旧工(アスファルト舗装) A=95㎡ 付帯工 N=1式			
総事業費(円)	4,975,950	補助金充当額(円)	4,500,000	
補助事業の成果 および評価	当路線は大樟地区と道口地区を結ぶ生活道路であり、町立越前中学校へ登校道路でもある。今回道路改良を行ったことにより、道路幅員が約0.8m拡幅され車両のすれ違い、さらには生徒の登下校時の安全が確保されるようになった。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	一般競争入札	越前町梅浦84-2-2 (有)笠原建設工業 代表取締役 笠原正也	4,975,950
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等		町道厨道口線道路改良事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 大樟 地係			
補助事業の概要	コンクリートブロック積擁壁工(H=2.0m) L=55.9m 落石防護柵工(H=1.5m) L=54.7m 側溝工(門型300×300) L=83.1m			
総事業費(円)	8,421,000	補助金充当額(円)	8,000,000	
補助事業の成果および評価	当路線は厨地区と国道305号へのアクセスする生活道路であり、緊急時の防災路線としての機能も備えている。今回落石防護柵等の法面对策を行ったことにより、頻繁に発生していた小規模な法面崩壊も防がれ、また門型側溝により道路拡幅もされたことによって、生活路線・防災路線としての機能が高まった。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	一般競争入札	越前町道口7-30-12 榊北瀬海運建設 代表取締役 北瀬教雄	8,421,000
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等		血ヶ平地区集会施設改修事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 血ヶ平 地係			
補助事業の概要	・外構工事 1.0式 ・タイル工事 1.0式 ・内装工事 1.0式 ・解体、立木伐採撤去工事 1.0式			
総事業費(円)	5,166,000	補助金充当額(円)	4,000,000	
補助事業の成果および評価	当施設は昭和60年に建設されて以来、大規模な改修等が行われていなかったため、玄関の一部バリアフリー化により車椅子や歩行困難者の方が利用しやすくなるとともに、集会施設の改修により今後も長期的に区民の利用に供することができる。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	防災	一般競争入札	越前町梅浦86-27 ㈱四ヶ浦建設 代表取締役 濱野眞志男	5,166,000
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名	補助事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	城崎小学校屋外運動場改修事業		
補助事業者名または間接補助金事業者名		越前町		
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 茂原 地係			
補助事業の概要	屋外運動場改修 1.0式 ・表面処理 A=4,800㎡			
総事業費(円)	11,025,000	補助金充当額(円)	8,000,000	
補助事業の成果 および評価	当校の屋外運動場は整備してから約20年が経過しており、整備されたことにより授業や学校行事など学習環境の向上が図られた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	一般競争入札	越前町高佐32-4-6 橋本建設(株) 代表取締役社長 橋本寛己	11,025,000
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		なし		

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等		越前学校給食センター給食運搬車購入事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 小樟 地係			
補助事業の概要	給食運搬車購入 1台			
総事業費(円)	4,882,500	補助金充当額(円)	4,500,000	
補助事業の成果および評価	当給食車は22年が経過し、故障等も多く雪道にたいしてのパワー不足も懸念されていたため、更新したことにより、安全安心に給食を運搬することが出来ている。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	指名競争入札	越前町梅浦81-1-7 (有)宮崎オート 代表取締役 宮崎勝治	4,882,500
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等		アクティブランド体育館改修事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 厨 地係			
補助事業の概要	・体育館屋根改修 1.0式 ・外装改修 1.0式 ・ローカ改修 1.0式 ・トイレ改修 1.0式 ・金属製建具改修 1.0式			
総事業費(円)	13,296,150	補助金充当額(円)	11,000,000	
補助事業の成果および評価	海岸沿いの体育館のため老朽化が激しい状態であったが、改修により、施設の利用状況が改善され住民のスポーツ振興と心身の健全な育成の向上が図られた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	一般競争入札	越前町西田中2-212 (株)大生 代表取締役 村上哲	13,296,150
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等		道口地区(大矢坂)避難路整備事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 道口 地係			
補助事業の概要	防護柵工 L=126.3m 舗装工 L=122.5m			
総事業費(円)	4,400,550	補助金充当額(円)	3,622,000	
補助事業の成果 および評価	日本海岸沿岸部に位置する越前地区は、東日本大震災後、津波に対する関心が高まっている。そのため、万が一の津波襲来の際、高台への避難路が整備されたことにより、日々の訓練の活用や、個々の防災に対する意識の高揚が図られた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	一般競争入札	越前町梅浦86-27 ㈱四ヶ浦建設 代表取締役 濱野真志男	4,400,550
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名	補助事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	道口地区(越前中学校)避難路整備事業		
補助事業者名または間接補助金事業者名		越前町		
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 道口 地係			
補助事業の概要	防護柵工 L=127.5m			
総事業費(円)	1,548,750	補助金充当額(円)	1,400,000	
補助事業の成果 および評価	日本海岸沿岸部に位置する越前地区は、東日本大震災後、津波に対する関心が高まっている。そのため、万が一の津波襲来の際、高台への避難路が整備されたことにより、日々の訓練の活用や、個々の防災に対する意識の高揚が図られた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	一般競争入札	越前町道口1-7-2 (株)関組 越前営業所 取締役所長 橋本良一	1,548,750
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		なし		

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名	補助事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等	大樟地区避難路整備事業		
補助事業者名または間接補助金事業者名		越前町		
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 大樟 地係			
補助事業の概要	防護柵工 L=129.0m コンクリート舗装工 1.0式			
総事業費(円)	1,663,200	補助金充当額(円)	1,300,000	
補助事業の成果 および評価	日本海岸沿岸部に位置する越前地区は、東日本大震災後、津波に対する関心が高まっている。そのため、万が一の津波襲来の際、高台への避難路が整備されたことにより、日々の訓練の活用や、個々の防災に対する意識の高揚が図られた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	一般競争入札	越前町梅浦56-62 岬建設(株) 代表取締役 笠原幸子郎	1,663,200
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		なし		

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等		米ノ地区避難路整備事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			越前町	
補助事業実施場所	福井県丹生郡越前町 米ノ 地係			
補助事業の概要	防護柵工 L=47.2m 舗装工 A=34.98㎡			
総事業費(円)	1,337,700	補助金充当額(円)	1,200,000	
補助事業の成果 および評価	日本海岸沿岸部に位置する越前地区は、東日本大震災後、津波に対する関心が高まっている。そのため、万が一の津波襲来の際、高台への避難路が整備されたことにより、日々の訓練の活用や、個々の防災に対する意識の高揚が図られた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	道路改良	一般競争入札	越前町西田中2-212 (株)大生 代表取締役 村上哲	1,337,700
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。